

社外秘

2020年度 経営計画書



2020年4月1日

一般財団法人こうち文化福祉振興財団

1. 設立の経緯

- 当財団設立の背景には、創立者である理事長山本速男が1998年に創業し、営んできたアイ・エム・シーグループの存在が大きくあります。アイ・エム・シーグループは、「医療・介護・福祉分野での社会貢献」を使命とし、20年以上にわたり高知県を中心に、地域との繋がりを大切にすることで発展を遂げてきました。自身と会社を育ててくれた土地への感謝の想いは、20数年余り経営者人生を送った山本に「ビジネスではない形で高知に恩返しがしたい」という想いを持たせるに至りました。そのような中、秀鳳流日本吟詠会の宗家である野中秀鳳師範(当財団最高顧問)の「伝統芸能を後世に残したいという情熱、多くの若者に携わってもらうための新たな挑戦の意思、文化によって地域をより豊かにしたい想い」に共鳴し、「文化と福祉を通じて高知をより豊かにすること」を目的に、当財団の設立へ至りました。

2.活動目標

- 高知県における県民の芸術及び文化活動の振興を図り、個性豊かな地域文化の創造と県民福祉の増進に寄与することを目的とし、次の事業を行います。
- 高知の歴史・伝統普及活動への支援活動
- 高知の文化・福祉の振興及び後継者の育成に向けた支援活動
- 高知の福祉における健康長寿の推進

3.活動目標

文化活動支援事業

- 伝統文化と現代文化を融合させた企画・支援
- 舞台公演の企画・運営・支援
- 様々な文化・芸術分野におけるアーティストや関係者同士をつなぐ

福祉・介護施設向け事業

- 福祉・介護施設でのイベント企画・支援
- 福祉・介護施設でのイベント時の出演者フォロー
- アーティストと福祉・介護施設をつなぐ

地域社会向け事業

- 文化・福祉事業に関する自治体向け企画・提案
- 文化・福祉活動を通じた地域づくりのための調査研究
- 魅力的な地域づくりのため、各種団体や自治体と連携

次世代向け事業

- 文化・芸術活動を担う若者の発掘
- 文化・芸術活動を行う若者に対する各種支援
- 文化・芸術活動を行う若者と活動の場をつなぐ